

お医者さんと開発した  
医療機関向けサプリメント



医療機関向けサプリメント

**ナチュラケアAD**  
Natura Care AD



かさつかない、  
潤いに満ちあふれる素肌を  
目指しませんか

お医者さんと共同開発した  
ヒアルロン酸ECM・E含有食品

主成分のECM・Eはヒアルロン酸や  
コラーゲン、コンドロイチンなどをバランスよく含んだ  
天然の潤い成分です。高分子のヒアルロン酸を  
吸収しやすいよう酵素で低分子化することに成功しました。  
ヒアルロン酸の特性を維持したまま低分子化しているため、  
その特性を持続したまま体内に吸収されるのです。

ECM・Eの臨床試験は、「臨床研究に関する倫理指針」、「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて実施されております。本臨床試験は、倫理指針に基づいて倫理委員会または治験審査委員会において審査承認を得た上で実施されております。また本臨床試験の内容は世界保健機構（WHO）が認定する臨床研究の登録機関に登録され、広く一般にも公開されております。

登録機関名	試験ID
国立大学付属病院長会議	UMIN000006923
社団法人日本医師会	JMA-IIA00075
世界保健機構	JPRN-UMIN000006923 JPRN-JMA-IIA00075



天然由来の原料を使用しているため変色することがありますが  
品質には問題ありませんので安心して摂取して下さい。

栄養成分表示 1粒(300mg中)

エネルギー	1.18kcal
たんぱく質	0.16g
脂 質	0.02g
炭 水 化 物	0.09g
ナトリウム	4.23mg

- 1日当たりの摂取目安量  
1日4粒～8粒を目安に摂取して下さい。
- 使用上の注意  
お体に合わない場合は摂取を中止して下さい。
- 本品は、多量摂取により疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。

商品名	ナチュラケアAD
名称	鶏冠抽出物加工食品
原材料名	鶏冠抽出物「ECM・E」、デキストリン、天然酵母（亜鉛含有）、粉末セルロース、ヘム鉄、ビタミンC、二酸化ケイ素、シヨ糖脂肪酸エステル、ナイアシン、ビタミンE、パントテン酸Ca、ピオチン、ビタミンB <sub>1</sub> 、ビタミンB <sub>2</sub> 、ビタミンB <sub>6</sub> 、ビタミンA、ビタミンD、ビタミンB <sub>12</sub> 、セラック
内 容 量	54g(300mg×180粒)
保存方法	直射日光や高温多湿な所は、避けて保存して下さい。
製造販売者	アダプトゲン製薬株式会社 岐阜県多治見市上山町1-90-1

ナチュラケアに関する  
お問い合わせはこちら

アダプトゲン製薬株式会社

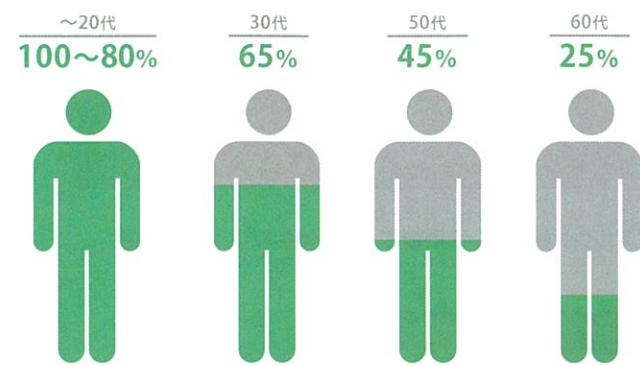
〒507-0022  
岐阜県多治見市上山町1-90-1  
TEL 0572-56-1111  
FAX 0572-56-0002  
<http://naturacare.adaptgen.co.jp/>

医療機関向けサプリメント  
**ナチュラケアAD**  
Natura Care AD

## ▶ ヒアルロン酸は加齢と共に減少する

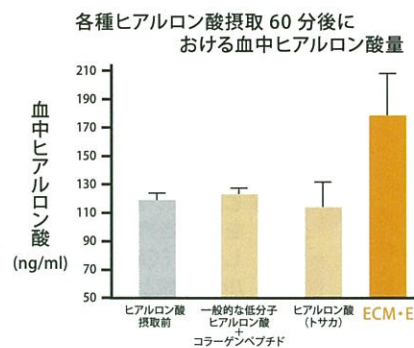
ヒアルロン酸は 1g で 6ℓ の水を保有すると言われる優れた保水力と高い粘弾性を持つ物質です。このような性質から化粧品や医薬品として使用されてきました。

私たちの体の、真皮や軟骨、関節液などに特に多く含まれ、肌水分の蒸発を防いだり、膝などの関節で潤滑油やクッションの役割をしています。しかし、加齢により体内のヒアルロン酸含量は減少してしまいます。ヒアルロン酸の減少が体内水分の減少をもたらし、様々な現象の引き金となっているのです。



出展/細川淳一著：ヒアルロン酸吸収用食品の若返りの効果

## ▶ 独自の技術が生んだ抜群の吸収性



「第39回日本栄養・食糧学会東北支部大会(2005年)」発表より

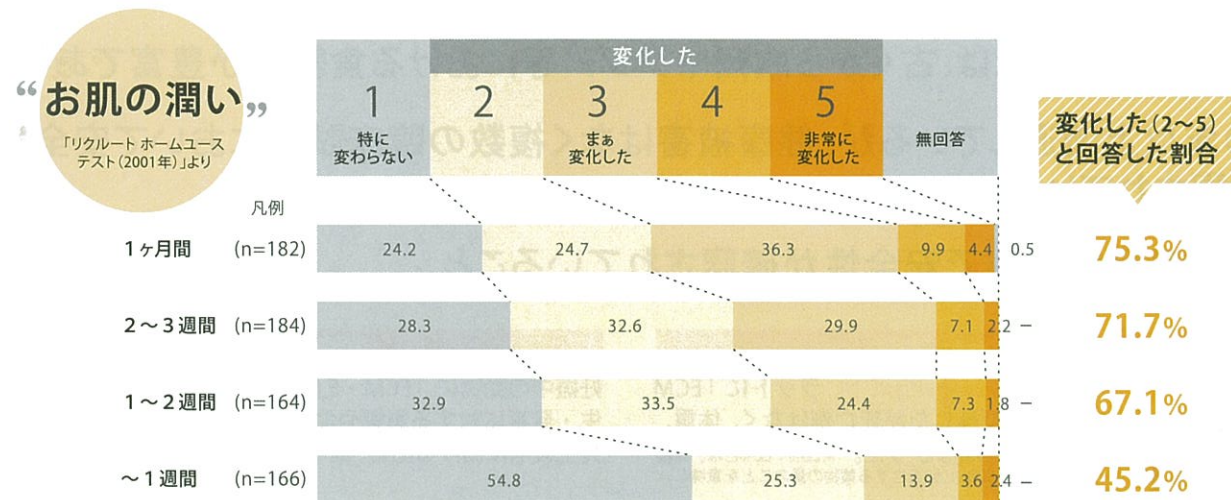
### 吸収がいい→体感が早い

一般的な低分子ヒアルロン酸やコラーゲンペプチドとの混合物にはない吸収力が「ECM・E」にはあります。マウスに各種ヒアルロン酸を投与して、60分後の血中ヒアルロン酸濃度を測定した結果、「ECM・E」のみ血中濃度が上昇しました。一般的なヒアルロン酸は変化していません。



一般に低分子化すれば吸収すると考えられていますが、そうではありません。「ECM・E」は、独自の技術で抽出・精製され、ヒアルロン酸の他にコラーゲンや他のムコ多糖類をバランスよく含有する物質だから、低分子化された高純度ヒアルロン酸よりも吸収性が良いのです。

## ▶ 平均 2 週間で体感する即効性



変化を感じた人の約90%が2週間以内に体感。1週間以内でも体感を得た人が全体の45.2%。1ヶ月の使用で75.3%の人が変化を実感しています。

## 元祖 食べるヒアルロン酸

# ECM・E

世界で初めて、ヒアルロン酸の吸収を可能にしたのがヒアルロン酸吸収用食品 ECM・E です



### エビデンスクオリティ認証/素材認証取得(2014年2月)

このマークはNPO法人健康情報処理センターあいち倫理委員会により科学的研究が適切に行われたことを確認した証です。

#### 臨床研究課題名

- アトピー性皮膚炎患者を対象とした鶏冠由来食用ヒアルロン酸 ECM・E の有効性についての多施設共同並行群間二重盲検比較による経口投与食品試験
- ECM・E のヒアルロン酸体内動態試験

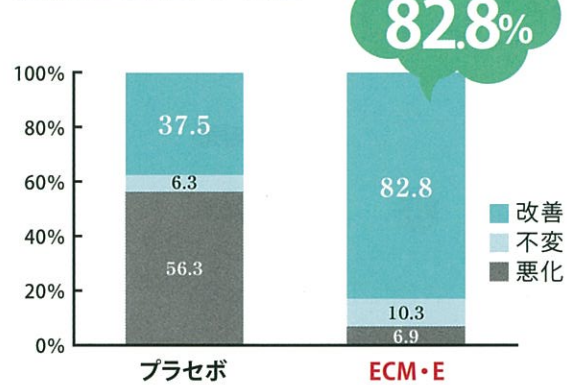
### 9カ国11種の国際特許取得

- |                       |                      |                         |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|
| 特許第3596777号 日本        | 特許第0447327号 大韓民国     | 特許第1174142号 スイス連邦       |
| 特許第6,403,560号 アメリカ合衆国 | 特許第1174142号 ドイツ連邦共和国 | 特許第1174142号 リヒテンシュタイン公国 |
| 特許第0395298号 大韓民国      | 特許第1174142号 イギリス     | 特許第1262081号 台湾          |
| 特許第0443653号 大韓民国      | 特許第1174142号 フランス共和国  |                         |

# ≫ ヒアルロン酸 ECM・E の豊富なエビデンス ≪

## アトピー性皮膚炎の改善効果

### 皮膚重症度の改善

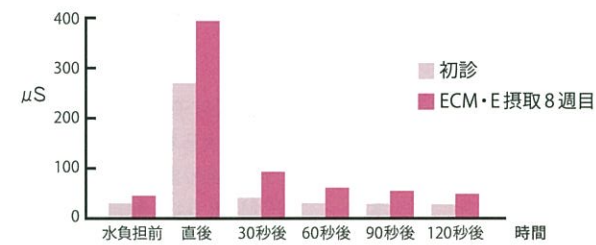
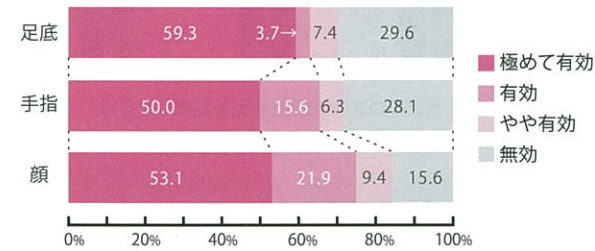


アトピー性皮膚炎患者を対象とした多施設共同プラセボ対象並行群間二重盲検試験において、0日目に対する56日目の重症度スコアはプラセボ(疑似食品)群では37.5%の改善であったのに対し、ECM・E群では**82.8%の改善**であった。また、「ECM・E」と因果関係のある副作用や110種類の併用薬との相互作用は確認されなかった。(「第112回日本皮膚科学会総会(2013年)」発表より)



## 保湿効果

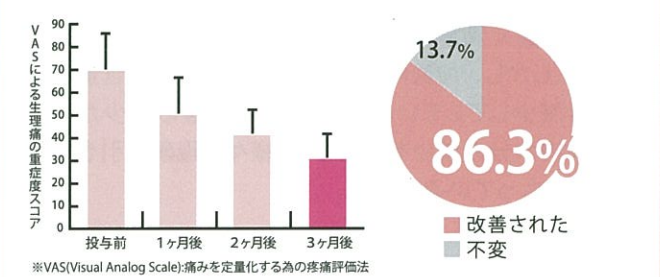
### ヒアルロン酸 ECM・E 摂取による身体各部位への有効性 (摂取8週間後における効果)



有効性については、顔88.4%、手71.9%、足70.7%の人に効果があったとしている。また、皮膚水分の水分量を調べてみると、経時的に増加していく傾向が認められた。(「日本皮膚科学会東海地方会(1993年)」発表より)

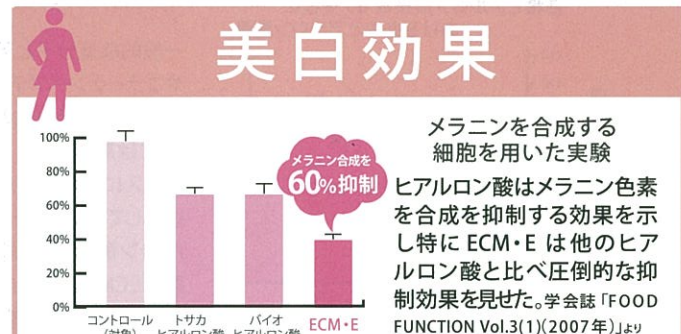
## 生理痛抑制効果

### 生理痛抑制効果測定 生理痛に対する改善効果



ヒアルロン酸には抗炎症効果や疼痛抑制効果があることが知られている。女性ユーザーからは生理痛を改善する声が多く、臨床試験で確認されている。(「韓国慶喜大学 付属漢方病院 婦人科医師室(2000年)」より)

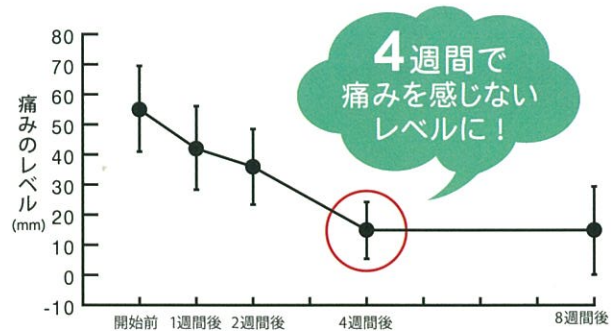
## 美白効果



メラニンを合成する細胞を用いた実験  
ヒアルロン酸はメラニン色素を合成を抑制する効果を示し特にECM・Eは他のヒアルロン酸と比べ圧倒的な抑制効果を見せた。学会誌「FOOD FUNCTION Vol.3(1)(2007年)」より

## 関節痛の緩和

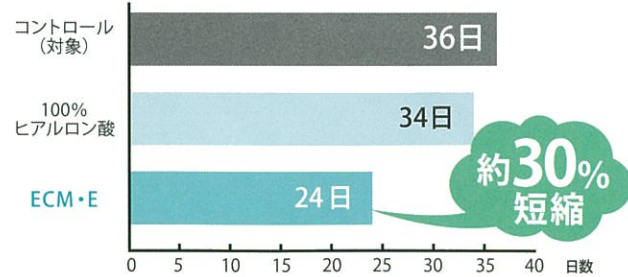
### 変形性関節症に悩む高齢者臨床試験



摂取から1週間で既に痛みのレベルが低下し、4週間経過で疼痛をほぼ感じない程度に緩和し、8週間後まで効果が維持されている。(学会誌「FOOD FUNCTION VO.2(1)(2006年)」より)

## 創傷治癒効果

### マウスにおける創傷治癒効果



ヒアルロン酸ECM・Eを与えた群は、与えない群よりも12日も早く完治した。「New Food Industry Vol.40 No.11(1998年)」より

## ≫ ECM・Eの安全性を裏付ける3つの理由

- “原料である鶏冠は、古くから欧州やアジア等における食経験が豊富であること
- “20年以上流通しているが、健康被害はなく複数の臨床試験において安全性が確認されていること
- “各種安全性試験で安全性が確認されていること

### 急性毒性試験

「ECM・E」のLD<sub>50</sub>\*は5000mg/kg以上。ラットに「ECM・E」5000mg/kgを経口投与したが死亡例はなく、体重、臓器重量、行動などに異常はなかった。\*LD<sub>50</sub>: LD<sub>50</sub>とは、試験動物に一度に食べさせると、半数(50%)が死亡する薬物の量のことを意味し、数字が大きい程、安全性が高い。

### 催奇形性試験

妊娠中の動物に「ECM・E」1000mg/kg投与し、胎児の発生・発育に対する影響や催奇形性を調べたところ、生育・発生段階における影響、催奇形性などは見出されなかった。

### 周産期・授乳期投与試験

マウスに妊娠15日～自然分娩20日まで「ECM・E」1000mg/kgを与えたが母体及び出生児に対する影響は認められなかった。

分析試験項目	結果	分析試験項目	結果
抗生物質簡易検査	陰性	プロゲステロン	検出せず
エスロン	検出せず	エストリオール	検出せず
エスラジオール	検出せず	砒素	検出せず
重金属(pbとして)	3ppm		

残留農薬: 残留農薬等の規格基準に適合(799種類の農薬等)